

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標	
<ul style="list-style-type: none"> ○「チーム深谷」として全教職員で協働して活力と魅力のある学校づくりを目指します。 ・学習の基礎基本の確実な定着とともに「見通す・振り返る・つなげる」学習活動を計画的に取り入れ、生徒が主体的に取り組む授業の実践を目指します。 ・授業や様々な行事、自治的活動等を通して、生徒の自己肯定感を高め、協働協力する態度を育みます。 ・あいさつの奨励や規範意識を高め、思いやりと福祉の心、物事の善悪を正しく判断する心を育みます。 ・地域の人との関りや多様な環境から学ぶ機会を通して、子どもの豊かな成長を支えとともに家庭、地域との連携を推進します。 ・Fph 理念を浸透させ、望ましい人間関係を築いていこうとする自主的、実践的な態度を育みます。 	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		<ul style="list-style-type: none"> ①登校支援アプローチ計画に基づく支援の充実を図る。 ②道徳教育の充実を図り、人権意識の感度を高くする。 ③集団活動や体験活動の充実を図り、自己肯定感、自己有用感を育てる。 ④生徒会本部役員生徒を中心としたいじめ撲滅活動（Fph）の理念を生徒・教職員により一層の浸透を図る
担当	道徳/人権・生徒指導/特活	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

みんなで取り組む行事などでは、一体感を感じ、やり遂げた感動を味わうことができる生徒が多い反面、自己肯定感に乏しく、目標や将来の夢をもっている生徒が少ない。また、人の気持ちを考えて発言したり行動したりすることがむずかしい生徒も見られる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

- ・道徳の授業公開を年一回以上実施する。
- ・道徳的価値について、自ら考えるきっかけとなるよう「新しい道徳」を積極的に活用する。
- ・生徒自身の思考を深められるよう、視聴覚教材を適切に活用する。
- ・教職員の人権感覚・意識の向上のため、Y-Pアセスメントを活用し、検討を実施する。

【項目 体験活動の充実】

- ・「生徒会活動」「学級での活動」などを自主的・意欲的に行えるようにする。
- ・校外の豊かな自然や文化に触れる「集団宿泊体験」を充実させる。
- ・キャリア教育の一環としての職業講話や職場体験を通して、自らの生き方や進路に関する現実的な探索と暫定的な選択を進める。
- ・グループワークを充実させ、他者とのかかわりの中でコミュニケーション能力を高め、社会性・協働性を高める。